



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

UAE・カタール・イラン：UAE 経済（イラン制裁問題）

（2日付欧米報道）

銀行関係者の証言として、UAE およびカタール中央銀行が市中銀行に対し、対イラン貿易に関する融資の停止を要請したことが報じられている。

1. 銀行関係者の証言によれば、UAE とカタール中銀は、対イラン貿易に関する融資の停止を要請した。
2. ドバイの銀行は、連邦中銀より、対イラン貿易に関する信用状の発行を停止するよう要請を受けた。イラン制裁以前には、中銀は対イラン貿易を定期的に監視し、2 国間の全取引を把握しようとしていた。しかし、銀行は今回、もはや何もなすすべがない。
3. 連邦税関局によれば、約 8000 社のイラン系貿易業者がドバイでは登録されており、イラン・UAE 間の再輸出額は 2011 年上半期だけで 1950 億ディルハム（53 億 2000 万米ドル）に達する。
4. カタールの銀行関係者によれば、カタール中銀も市中銀行に対し、対イラン貿易に関する信任状の発行を停止するよう要請した模様である。
5. 銀行関係者によれば、バハレーンについては、伝統的にイランとの貿易関係者が限定的であり、イラン貿易に対する融資は銀行の主たる業務とはなっていない。
6. 歴史的に、南米や米国、EU 産の穀物はドバイを経由し、イランに再輸出されてきた。しかし、イラン側の買い付け業者に対する融資が停止したこと等により、3 週間以上、約 10 隻の船が穀物をイランに輸送できない状態が続き、このうち、最大 5 隻が目的地を変更した模様である。

なお、5 日現在、UAE 中銀ウェブサイト上では、本件要請に関するプレスリリース等は発表されていない。